



レインボー・リール東京 ～東京国際レズビアン&ゲイ映画祭～ グランプリ受賞

京都国際映画祭 エンターテインメント映像部門 グランプリ 新人監督映画祭 中編部門 グランプリ

横浜インディペンデントフィルムフェスティバル 中編部門グランプリ・ジャック&ベティ賞 TOKYO 月イチ映画祭 グランプリ

下北沢映画祭 観客賞・日本映画専門チャンネル賞 うえだ城下町映画祭 自主制作映画コンテスト 実行委員会特別賞 はままつ映画祭 観客賞

カヲンコエのイヒ



ただ、あなたを守りたかった。

今田 美桜 石本 径代 永瀬 千裕 笠松 将 須藤 誠

有佐 堀 春菜 手島 実優 山上 綾加 古山 憲正 イワゴウサトシ

脚本・監督・編集／中川 駿

企画／木佐優士、柴田徹也、中川駿 プロデューサー／山野淳、木佐優士 撮影／伊藤弘典 録音監修／治田敏秀 録音／内田達也 助監督／柴田徹也 監督補佐／和智仁美
照明助手／平山貴浩 録音助手／佐藤初那 制作／戸塚美早紀 ヘアメイク／CHimuu Yayoi CB 整音／空想サウンド開発局 スチール撮影／宇田川俊之 フライヤーデザイン／桑田亜由子
協力／茨城県立那珂高校、茨城交通株式会社、水戸市みとの魅力発信課、昭島ロケーションサービス 製作／中川組 配給・制作協力／ニューシネマワークショップ (Movies-High18)

2016年/日本/39分

「うちのクラスにもいるんじゃないか？」

とある高校2年生のクラス。ある日唐突に『LGBTについて』の授業が行われた。しかし他のクラスではその授業は行われておらず、生徒たちに疑念が生じる。「うちのクラスにLGBTの人がいるんじゃないか？」生徒らの日常に波紋が広がっていき…思春期ならではの心の葛藤が起こした行動とは…?



当事者ではなく周囲の目線で描く

近年社会問題として国際的にもメディアで多く取り上げられている「LGBT」。

当事者を主とした恋愛や状況を描いた映画は国内外で多く発表されている中、それを「取り巻く周囲の人々」にフォーカスを当てることで、彼らの過剰な配慮によって翻弄されていく当事者を描いた今までにない視点の映画作品。また、それが観客に対するリアルなメッセージとして感動を与えインディーズ映画祭でグランプリを含めた数々の賞を受賞。さらに今若手女優として注目度の高い今田美桜を主演に起用し、等身大の女子高生の心の動きを新鮮な演技で描いた点も見どころとなっている。

いくつもの思いやりが、ひとりの心に傷をつけた

「あなたという人間の尊厳を守るために」

女装パフォーマーブルボンヌ

「私の周りに“そういう人”はいなかったから」

何度も言われた言葉です。

あなたの前で、そうじゃない振りをするしかなかった人たちが、たくさんいた。かわいそうな友達を守るのではなく、あなたという人間の尊厳を守るために。

「最もピュアな感情を思い出させてくれる映画」

タレント・女優 西原さつき

誰かを好きになるという、最もピュアな感情を思い出させてくれる映画でした。あの笑顔にもう一度包まれないとか、大切なものを守りたいとか、皆が持っている一番キレイで透明な気持ちが詰まっています。

自分に嘘をつかなくても良いように、自分の性を誇りに思えるように。

この作品に触れることで、そんな気持ちになってもらえたら良いと思います。

誰かが誰かを愛する、その無色透明な感動を、ぜひご覧ください。

2024年1月13日 土

甲府市総合市民会館
芸術ホール (定員250名)

開演14時30分 (受付開始14時00分)

上映終了後 (15時30分ころ) 中川駿監督トークセッション予定

【問い合わせ先】055-235-7202 山梨県弁護士会

※ 平日のみの対応となります。

申込
不要

入場
無料